

## 光技術応用オイル劣化センサ

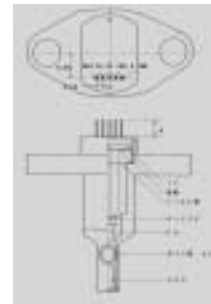
潤滑油が劣化するメカニズムは非常に複雑であるが、エンジンオイルや自動変速機用 ATF オイル等が劣化するとある特定波長帯の吸収率が増加する効果を応用し、潤滑油の劣化度を判定するセンサを開発に成功した。また、検出回路にデジタルの新方式等を採用することにより耐温度、ノイズ環境性を著しく向上させることが可能となった。この新開発の技術により GHP(Gas Heart Pump)用オイル劣化センサを環境条件が著しく悪いオイルパンに直接装着することが可能となった。



N社向け ATF テスター



Y社向け GHP センサ



潤滑油劣化のメカニズムはエンジンの運転により燃料より生じる NOx 等と熱によりカルボン酸等が生じ、潤滑油が劣化する。またそれらの重合が進むことにより不溶解分が増えることによると言われている。

